

議員の起立を求めます。

(起立全員)

- 町田義昭議長 起立全員であります。よって、議案第87号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

### 委員会付託の省略について

- 町田義昭議長 お諮りいたします。これより上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- 町田義昭議長 ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

### 日程第16 議案第88号 平成22年度長井市一般会計補正予算第6号

- 町田義昭議長 それでは、日程第16、議案第88号 平成22年度長井市一般会計補正予算第6号の1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

- 内谷重治市長 おはようございます。

議案第88号 平成22年度長井市一般会計補正予算第6号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に322万2,000円を追加いたしまして、予算の総額を歳入歳出それぞれ114億2,633万5,000円といたすものでございます。

このたびの補正は、子宮頸がん等ワクチン接

種事業費として322万2,000円を追加いたすものでございます。

また、このたびの補正の財源といたしまして、山形県子宮頸がん等ワクチン接種促進事業費補助金238万4,000円、前年度繰越金83万8,000円を計上いたすものでございます。

なお、後ほど子宮頸がん等ワクチン接種事業の概要について担当課長がご説明いたします。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

- 町田義昭議長 提案者の説明が終わりました。

ここで、議案第88号に係る事業概要の説明を求めます。

松木幸嗣健康課長。

- 松木幸嗣健康課長 おはようございます。

議案第88号 平成22年度長井市一般会計補正予算第6号の事業概要につきましてご説明申し上げます。

今定例会に追加提案いたしました長井市一般会計補正予算第6号に計上しております長井市子宮頸がん等ワクチン接種事業につきましては、11月26日に成立いたしました今年度の国の補正予算に計上されている子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を活用した山形県予防接種緊急促進臨時特例基金の造成、期間は平成22年度から23年度と、その事業実施について補正予算案が県議会に上程されることに対応いたしまして、子宮頸がんの発症予防、小児の髄膜炎発症、聴覚障害等の後遺症の予防を目的として子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型の略称であります、及び小児肺炎球菌ワクチン接種にかかわる費用の助成をするものであります。

最初に、事業対象者であります。国が示しております対象につきましては、子宮頸がん予防ワクチンは中学1年生から高校1年生、13歳相当から16歳相当の女子、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンはゼロ歳から4歳の乳幼

児という考えが示されております。当市は、この趣旨に従うとともに、今年度は実施期間が年度末まで限られていること、対象者の接種機会を逃がさないようにすることなどから、子宮頸がん予防ワクチンにつきましては高校1年生、16歳相当、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンは4歳を原則的に対象として取り組み、次年度は国の示す対象者に実施してまいりたいと考えております。

現在、想定しています対象者は、子宮頸がんワクチン、148名の5割程度70名、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン55名で総額322万2,000円の補正額であります。

財源の内訳といたしましては、国の2分の1の負担分を含んで、県から接種費用4分の3の補助金238万4,000円を見込んでおります。

また、当該ワクチンは、WHOの接種勧告ワクチンであるとともに、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会から厚生労働大臣に、予防接種法の定期接種に位置づけるよう提言を受けているワクチンではありますが、現段階では任意ワクチンであることには変わりなく、その被害者の救済が課題になります。

国から示されている事業内容は、民間保険への加入が助成の要件になると示されております。この点、長井市は現在加入の全国市長会予防接種事故補償保険がこの要件に該当しているところであります。

なお、事業実施に当たりましては、国、県が示す事業実施要領等に従い、年度内実施に万全を期してまいりたいと考えております。

以上、事業概要を説明させていただきます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭議長 概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 質疑もないので、質疑を終結し、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第88号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭議長 起立全員であります。よって、議案第88号は、原案のとおり決定いたしました。

#### 日程第17 諮問第4号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

#### 日程第18 諮問第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○町田義昭議長 次に、日程第17、諮問第4号人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて及び日程第18、諮問第5号人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての2件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内容重治市長。

(内容重治市長登壇)

○内容重治市長 諮問第4号及び諮問第5号についてご説明申し上げます。

この2件は、いずれも人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてでございます。

諮問第4号では、平成23年3月31日をもって任期満了となります新野義憲氏を改めて推薦いたすため、諮問第5号では、同じく3月31日をもって任期満了となります禅徳雄氏を改めて推薦いたすため、ご提案申し上げます。

よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○町田義昭議長 提案者の説明が終わりました。

本案は、いずれも人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、順次採決いたします。

まず、諮問第4号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭議長 起立全員であります。よって、諮問第4号は、原案に同意することに決定いたしました。

次に、諮問第5号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭議長 起立全員であります。よって、諮問第5号は、原案に同意することに決定いたしました。

## 日程第19 議会案第7号 TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 参加に対する意見書の提出について

○町田義昭議長 次に、日程第19、議会案第7号 TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 参加に対する意見書の提出についての1件を議題いたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号8番、安部 隆議員。

(8番安部 隆議員登壇)

○8番 安部 隆議員 議会案第7号 TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 参加に対する意見書の提出についてご説明申し上げます。

本案は、先ほどの請願第8号の採択に基づき提案いたすものであります。

TPPは、関税撤廃の例外を認めない完全な貿易自由化であり、重要な農産物の関税が撤廃

されれば、日本農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大であると試算されています。また、ことし3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、国家戦略として食料自給率50%を目指すとしています。TPP交渉への参加は、この基本計画の内容と矛盾することも懸念されます。今、求められていることは、この基本計画の着実な達成に至る行程と具体的方策の明確な提示及び十分な検証と議論であると考えます。

よって、これらの実現を求める意見書を案のとおり国及び政府関係機関に提出するため、提案するものであります。よろしくご賛同くださいますようお願い申し上げます。

○町田義昭議長 提案者の説明が終わりました。

これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 提案者にお尋ねいたしますが、請願第8号を採択をして、私も請願第8号には賛同するんです。するけれども、意見書は、ちょっとこれ賛同できないですね。なぜかという、この請願書を採択して、どうしてこの意見書が提出されるのかと、この理由がまずわからない。TPPに賛成するのか、反対するのかもわからない。これはどういう意図を持って提出したんですか。十分に議論さえすれば、TPP入ってもいいんだと、賛成してもいいんだと、こういう意味を言ってるんでしょうか。それとも関税撤廃の例外措置を認めないTPPへの参加は米だけを守ればいいと、こういう考え方のもとに提出されたんでしょうか、いかがでしょう。

○町田義昭議長 8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 蒲生議員にお答えいたします。

今、説明申し上げましたようにこの完全貿易自由化というようなことになれば、日本農業を

始め、地域経済、他の産業についてもそれなりに影響が甚大であると。そのためにもやはり国民的な議論といいますか、生産者を含めた丁寧な、そうした検討、議論というものが必要であると、そういうようなものを含めてこのTPPには反対するんだと、こういうようなことの内容であります。

○町田義昭議長 17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 ならば、請願第8号のタイトルは、「TPP参加に反対する意見書提出方請願」ですね。この意見書は、「TPP参加に対する意見書」ですね。どうしてここ、「反対」が取れたんでしょうか。「反対」が入ってるものを採択したんだと思いますね。反対じゃなくなったということの理解でいいのかどうかということ聞いたんです、私。

○町田義昭議長 8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 この参加に対する意見書は反対というようなことでありますけども、やはり国民的議論というところが一つの肝要、肝心ではないかなと。請願第9号については、この参加に反対だと、一方的に反対だというようなことでは、やはり違うのではないかなというふうに私は思ったところであります。

○町田義昭議長 17番、蒲生吉夫議員。

○17番 蒲生吉夫議員 そうであったら、あなた、産建委員長として取りまとめをしながら議会案第8号の意見書もつくったんですね。私にはこの8号渡ってなかったみたいですけども、どうしてかわかりませんが、議会案第7号が2枚渡ってしました、私のところには。鈴木新助議員のところには8号の意見書があったんで、私、そこから交換しました。やっぱりそれはいいとしても、参加に反対する請願を採択したのであれば、タイトルも「参加に反対する」と入れなければいけないんじゃないでしょうか。

不思議なことに、私も紹介議員だから行きましたけれども、両方とも請願第8号も9号も全

員一致で賛成してるんですよ。今、本会議の結果は、またそれとも違ったんじゃないですか。委員会の採決の結果が請願の不採択というふうになったのであれば、私はその時点で討論しましたよ、私は。そうでしょ。だから、私は両方ともこの請願の採択には賛成したんですよ。そうでしょ、理屈的に。これは、やっぱり委員長の取りまとめの力がないなと私は言いません。委員の委員会の質疑の仕方に問題が私はあったんでないかと思うんですね。私は、意見書を出すというところには入ってないんですよ、紹介議員はね。議案に先立って請願審査を最初の案件として持ってきたもんですから、その後、皆さんは現場に行ったんですね。だから意見書をどうするかというところに私は入ってないんですよ。そうでしょ。本来はそこまで入ってすべきなんですよ、取りまとめというのは。それ、取りまとめられなかった委員長というのは私、問題あると思いますよ。

その経過も含めると、私は、この参加に反対するを採択してるんだから、「反対」を入れなければおかしいでしょうというふうに言っているんですね。どうしてここが取れたのかという部分をタイトルが同じであれば、私、これにも賛成しますよ、こっちにも。どうして取れたのかという部分というのは、ちょっと質疑の経過がありましたら教えてください、そこ。

○町田義昭議長 8番、安部 隆議員。

○8番 安部 隆議員 お答えしますけども、委員会の質疑は、私は淡々としたもので間違いのないというふうにそう感じています。

また、取りまとめの件につきましても、当時、両紹介議員の方には、一応我々にお任せいただきたいという旨は多分了解をしていただいたというふうに私、思っておりますので、我々はその取りまとめは別に何らその紹介議員がいないところで決めても、ちゃんとルールは守っているというふうに思っております。

また、反対する意見と、反対というものがでてないというようなことでありますけども、やはり請願の提出者等の意向というようなことも、これは十分に配慮していかなければならないものだというふうに思っておりますので、こういうような委員会の議論というようなことでまとめるところでございます。

○町田義昭議長 ほかにご質疑ございませんか。  
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議会案第7号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

17番、蒲生吉夫議員。

(17番蒲生吉夫議員登壇)

○17番 蒲生吉夫議員 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に対する意見書に対して、反対の意見を申し上げたいと思います。

TPPに対しましては、私も請願第9号に対しまして請願の紹介議員になっておりますので、大変よくわかるんですけども、その中身については「TPP参加に反対する意見書を提出してほしい」と、こういった案件であります。同じようにこの意見書を出す背景には、請願第8号のTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に反対する請願を採択したことによる意見書の提出というふうになるわけでありまして、今回提出されているのは「参加に対する意見書」ということで、反対する旨のタイトルが消えていると、この中身そのものがどういうものかというものがわからないこともさることながら、この請願を採択することによって、この意見書が出てくる背景が全く理解できないというふうに思います。

農業については、総体的に強い農業をつくっていかうということで何年か前から取り組んできた経過があります。その中においても私たちは、いわゆる日本人の主食であります米は絶対

輸入してはならない、諸外国においても同じことが言われております。例えばフランスであれば、外国のブドウは一粒たりとも入れないと、こういうふうになっていると私は認識しております。

そして、この関税のあり方としては、TPPの参加に対しては例外ということ認めない参加だというふうに思っております。特に具体的に言えばアメリカと日本のFTAと同じというふうに思っております。その意味では、日本の農産物の自給率は14%ぐらいに、これが入ってしまえばなるんでないかということが言われております。私は、「工業国日本」であるところは承知しております。そして輸出する産業を守るために、農業生産物も輸入をたくさんしていることもよく承知しております。その上で、かつてミニマムアクセス米を輸入しようとするときには、私たちは反対しました。私たちはというのは、請願第9号を出した人たちも反対をしました。しかし、農業者は、私は懐が深いのかどうかちょっとわかりません。要するに輸出産業を守っていくためには、農業生産物の輸入しようがないんだと、こういう理屈を成り立たせているわけですね。私は、そうでなくて日本は瑞穂の国と呼ばれていて、「米だけは絶対輸入はだめだぞ」と、こういう主張をしてきたわけですね。にもかかわらず、ミニマムアクセス米は入ってまいりました。これは、やはり農業生産物の開国だというふうに言わなければならない問題なのでないかなというふうに思います。

私は今、委員長に「米だけの問題でこういう提案してるのか」というふうに言いましたように、私は委員会の中でこのように言いました。農業生産物の関税率は、米はまだ低い方なんです。量は多いですけども、米は低い方なんです。ほかの生産物がたくさんあるわけですね。一番最初に私が言ったのは、コンニャクイモです。

「コンニャクイモの輸入は1,000何%かけてる

+

んだよ」と、要するに「絶対輸入できないようにしてるんだぞ」というふうに私は紹介議員として言いましたけども、やはり自給率が低くなるというのは、まさにフランスのド・ゴール大統領が言っていたように、「食料の自給をできない国は独立国とは言えない」と、こういう言葉を使っても説明したというふうに思います。

その意味では、私はこのTPP参加に対する意見書案は「反対」が抜けている、このことは極めて問題だというふうに思います。要するに最後の方で言っている部分では、十分な検証と議論があれば、これはオーケーだぞとこういう文章だというふうに思います。私は、十分な検証と議論をした上でTPPをやめていくのであれば、オーケーですけども、そうでなくて、それをすれば、拙速的でなければオーケーだということ意見書であれば、極めてどっちつかずの意見書でしかないというふうに思い、この意見書提出に反対を表明するものであります。以上です。

○町田義昭議長 ほかにご意見ございませんか。  
12番、藤原民夫議員。

○12番 藤原民夫議員 ミスプリントじゃないですか。定例会議事日程の中の日程第19、第20、いずれもTPP参加に反対する意見書提出について、第20もTPPの参加に反対する意見書、反対が明確に出てるんです。ところが今、話に出ましたようにこっちは抜けてるんですね。その点についてどうですか。

(「質疑は終わった」の声あり)

○町田義昭議長 ミスではございませんので、ご了承ください。

ほかにご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ほかにご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議会案第7号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○町田義昭議長 起立多数であります。よって、議会案第7号は、原案のとおり決定いたしました。

## 日程第20 議会案第8号 TPP (環太平洋戦略的経済連携協定)の 参加に反対する意見書の提出について

○町田義昭議長 次に、日程第20、議会案第8号TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の参加に反対する意見書の提出についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号12番、藤原民夫議員。

(12番藤原民夫議員登壇)

○12番 藤原民夫議員 議会案第8号TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の参加に反対する意見書の提出についてご説明申し上げます。

TPPは、原則としてすべての品目の関税を撤廃する協定で、農林水産省の試算では我が国の食料自給率は40%から14%に急落し、農業生産額が4兆1,000億円程度減少するとされております。日本の農産物の平均関税率は12%まで下がっており、日本は農業が最も開かれた国、そういう国になってしまっているのが現状であります。重要な農産物の関税が撤廃されれば、日本の農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大であり、国民の圧倒的多数が願っている食料自給率の向上とTPP交渉への参加は両立しないものであります。

よって、TPPの参加に反対する意見書を案のとおり国及び政府関係機関に提出するため、提案するものであります。よろしくご賛同くださいますようお願い申し上げます。

○町田義昭議長 提案者の説明が終わりました。  
これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議会案第8号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議会案第8号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立少数)

○町田義昭議長 起立少数であります。よって、議会案第8号は、否決されました。

○町田義昭議長 最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭議長 ご異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

以上で本日の議事は全部終了いたしました。

平成22年第5回市議会定例会を閉会するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

19日間にわたって行われました12月の定例会も議員諸兄並びに市長を始めとする当局の皆さんのご協力をいただきまして、無事終了の運びとなりました。心からお礼を申し上げる次第でございます。

2010年振り返ってみますと、世界的な状況の中で一つだけ感動したことがございます。それは、私的に申し上げれば、チリの落盤事故に係る救出劇でございました。33人全員が無事救出

できたと、これ以上の感動はないなど、そのように思った次第でございます。このことについては、3つの奇跡が起きたなど私はそういうふうに認識しております。一つは、発見まで17日間もあったんですけれども、全員無事であったと。そして69日間にわたる、正直な話、格闘だと思えますけれども、これまたクリアできたと。そして3つ目は、600メートル以上の救出口が一度も崩落することがなかったと、これは奇跡じゃないかなと、そんなように思った次第であります。人命のとうとさ、あきらめないということがまざまざと教えられた出来事でなかったかなと、そのように思います。

国内的に申し上げれば、安全保障に関するものは非常に厳しいものがあるなど思ったんですが、やはりこの夏の酷暑ではないかなと、そのように思います。今年の漢字も「暑」、暑いということでございました。この酷暑がことし限りで終わってくればいいんでしょうけども、これが恒久的に続くということになれば、自然の生態系が大きく崩れてくると。生態系が崩れてくるということは私たちの産業、そして生活が大きく変わるということだと思います。来年を注目して見詰めていきたいなど、そのように思っております。

また、長井市におきましては、私は2つ取り上げました。それは第1点は、あやめ100周年に係る記念事業が行政とそして市民が一体となって数多くの記念事業が行われたと、そしてその事業が新しいものもあれば、またレトロ的なものもあったということが、これからの長井市の発展にとって礎になっていくものではないかなと、そんなふうにも思っておるところでございます。内谷市長の施政方針の中でもあったんですけれども、ほぼそのとおりに実行されてきたなど、そんなふうにも思っておるところでございます。

第2点は、内谷市長が2期目の当選を果たさ

れたと、無競争であります。無言の信任だとは思いますが、これを重く受けとめて来年度に向けた展開を行っていただければ、ありがたいかと、そんなように思っているところでございます。

この1年、本当に私も議長を皆さんから与えていただきまして精いっぱいやってきたつもりでございます。しかしながら、このとおりのふもとりでございますので、本日も開口一番間違っていました。本当にとちって申しわけないなと思っておりますが、最後まで皆さんの力をいただいたことに対して心から感謝を申し上げます、ことし1年をありがとうと申し上げ、そして来年がいい年であることをご祈念申し上げます、御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

## 閉 会

+

+

○町田義昭議長 これをもって平成22年第5回長井市議会定例会を閉会いたします。

ご協力まことにありがとうございました。

午前11時10分 閉会

会議録署名議員

議 長 町 田 義 昭

15 番 鈴 木 武 次

17 番 蒲 生 吉 夫

1 番 竹 田 博 一